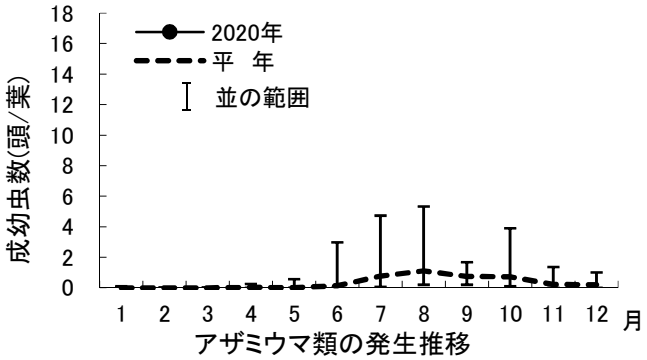
平成　31 年度　　2 月予報

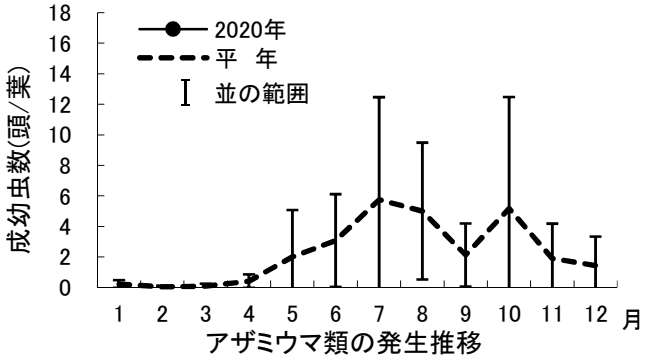
作物	マンゴー	地域	沖縄群島
病害虫名	チャノキイロアザミウマ		
予報	2 月の発生量（平年比）	―	
	1 月からの増減傾向	―	
予報の根拠	1 月の発生量（平年比）	―	
	その他 (気象要因など)	―	

調査結果

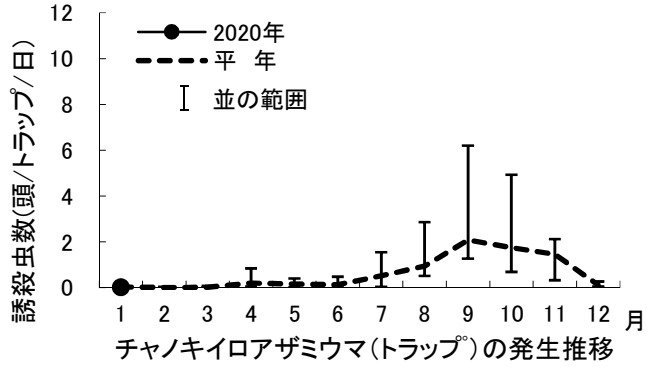
（見取り調査）　〈中央値〉



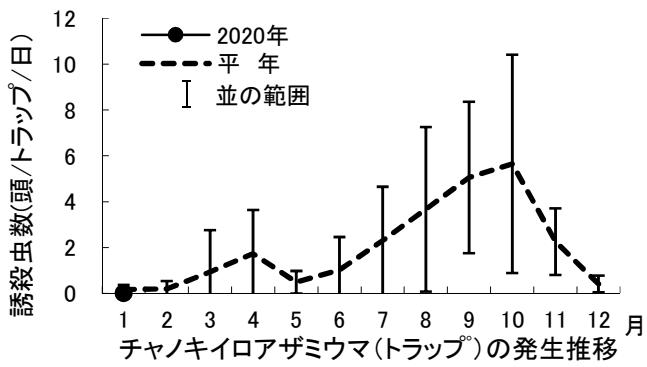
〈平均値〉



（トラップ調査）　〈中央値〉



〈平均値〉



・見取り調査は、新梢数が基準に満たなかったため1月のデータなし

・トラップ調査の誘殺ほ場率：75%（平年81.8%）

防除のポイント

・開花期以降は本種が増加しやすいので、早期発見・防除に努める。

・開花中に薬剤散布を行う場合は、受粉昆虫に影響のない薬剤を選択する。

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。

・不要な新梢は、施設外に除去する。

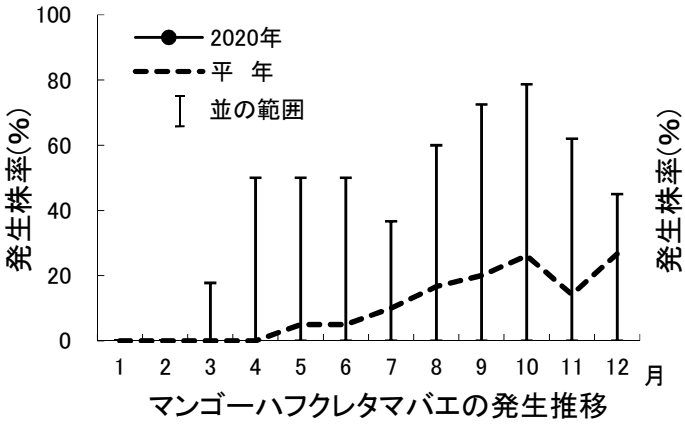
ナガエコミカンソウ

平成　31 年度　　2 月予報

作物	マンゴー		地域	沖縄群島
病害虫名	マンゴーハフクレタマバエ			
予報	2 月の発生量（平年比）	―		
	1 月からの増減傾向	―		
予報の根拠	1 月の発生量（平年比）	―		
	その他 (気象要因など)	―		

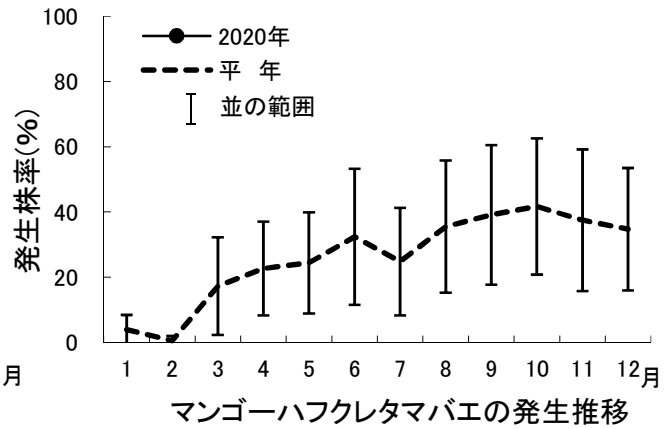
調査結果

〈中央値〉



マンゴーハフクレタマバエの発生推移

〈平均値〉



マンゴーハフクレタマバエの発生推移

・　新梢数が基準に満たなかったため1月のデータなし

防除のポイント

・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。

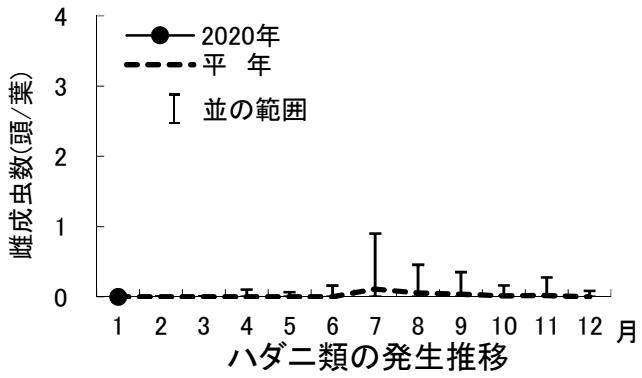
・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。

平成　31 年度　　2 月予報

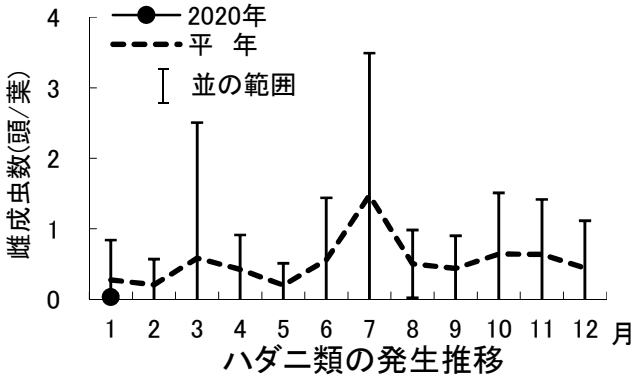
作物	マンゴー	地域	沖縄群島
病害虫名	① ハダニ類	シュレイツメハダニ	
予報	2 月の発生量（平年比）	並	
	1 月からの増減傾向	→	
予報の根拠	1 月の発生量（平年比）	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（→）	

調査結果

〈中央値〉



〈平均値〉



- 発生種：シュレイツメハダニ、マンゴーツメハダニ
- 発生施設率：25%（平年27.9%）
- 新梢での寄生雌成虫数：新梢数が基準に満たなかったため1月のデータなし

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ハダニの寄生による葉のかすれ症